

中学年ブロック(4年算数科)

単元名

(目指す児童像) 単元を通して育てたい児童像を簡潔に表現する

既習内容を活用して、よりよい考えを見だし、わかりやすく表現する子

つきたい力	<学習内容の確実な定着を図る 指導の工夫・改善>	<学習意欲を高める 指導の工夫・改善>
<p>(B量と測定) 面積</p> <p>(1) 面積について単位と測定の意味を理解し、計算によって求めることができるようにする。</p> <p>① 既習学習をもと、図・計算などを使い自分の考えをワークシートに書き、説明したりする力</p> <p>② 解決のための方法や結果について見通しをもつ力</p> <p>③ 自分の解法を分かりやすく友だちに説明して、考えを聞いて分かったことを発表する力</p>	<p>1自己評価の工夫</p> <p>① ノートの感想での振り返り</p> <p>② 伝え合いでの深まりを活かす</p> <p>2相互評価の工夫</p> <p>多様な考え方を意識したグループでの話し合いをおこなう。</p> <p>3主体的な言語活動</p> <p>① 自立解決を支援する工夫</p> <p>② 算数的な話し合い</p>	<p>4課題意識・目的意識の獲得</p> <p>① 掲示物の工夫</p> <p>② 導入の工夫</p> <p>③ 板書の工夫</p> <p>④ OHCの効果的な活用</p> <p>⑤ 効果的な少人数指導</p> <p>5教師によるそのつど評価の工夫</p> <p>① ノートの評価</p> <p>② ワークシートの評価</p> <p>③ 机間指導中の評価</p>

単元の目標

- 面積を数値化することのよさや、計算によって求められることの便利さに気付き、身の回りの面積を求めるなど生活に生かそうとする。(関心・意欲・態度)
- 面積について、量や乗法の学習を基に、単位の何こ分か数値化して表すことや、辺の長さを用いて計算で求められることを考え、とらえることができる。(数学的な考え方)
- 長方形、正方形の面積を公式を用いて求めることができる。(図形や表現についての技能)
- 面積について、単位と測定の意味や、長方形、正方形の面積は計算によって求められることやその求め方を理解し、面積についての量感を身につける。(数量や図形についての知識・理解)

【本時の授業の実践と考察】

本時(5/11時)

(☆ 他教科・他学年との関係 ※ 考察)

- 1 既習の学習内容を振り返る。手だて4-①
- 2 問題を知る。手だて4-①、4-②

問題 「L字の図形の面積をもとめましょう。」

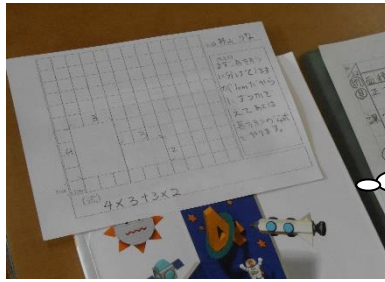
- 3 本時の課題をもつ。

課題 「学習したことを使い、面積の求め方を考えよう。」

(1) じっくりコース

4 見通しをもち、自力解決をする。(一人学び) 手だて4-①

C: 2つの長方形に分けて考えると…。



C: 大きな長方形を作り、余分なところを引くと…。

※じっくりコースでは、自力解決の際に、考えることができるように困っている児童にはヒントカードを用意した。

5 それぞれの考えた方法についてクイズ形式で全体に発表する。 手だて3-②、手だて4-③

☆お互いの考えをもとに認め合うことが、他者を尊重したり進んで理解しようとしたりする態度を育てる。

T: 考え方を式のみでクイズ形式で発表しましょう。
C: 式は $4 \times 3 + 2 \times 3$ 。私はどう考えたでしょう。
C: 線を引いて図形を分けて考えたのだと思います。



※全体で説明する際に、分かったところ、自分と似ているところ、違うところを考えながら聞くことによって交流が深まった。

6 全体でまとめをする。 手だて4-③



T: 今日の学習で分かったことは、どんなことですか。

C: 図形を分けたり、引いたり、動かしたりすると、面積がもとめられます。

T: どの方法でも共通して長方形や正方形で考えていることが分かりましたね。それでは、まとめましょう。

C: 長方形や正方形にして考えると面積が求められる。



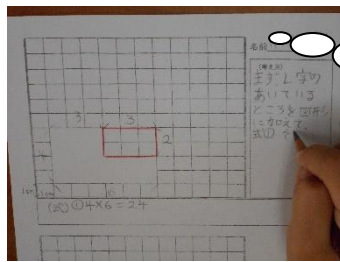
☆筋道を立てて分かりやすく説明しようとする力は、国語科とのつながりがある。

7 適用問題に取り組む。

8 学習感想を書く。 手だて1-①

(2) すいすいコース

4 見通しをもち、自力解決をする。(一人学び) 手だて4-①、4-⑤



C: まずL字のあいているところに長方形を加えて・・・

※すいすいコースでは、できるだけ短い時間で多様な考え方を交流し合うことで、児童一人ひとりが既習事項を含め、豊かな表現方法で課題解決を行うことができた。

5 それぞれの考えた方法についてクイズ形式で発表する。(グループ学習) 手だて 3-②
 ☆お互いの考えをもとに話し合い、認め合うことが、他者を尊重したり進んで理解しようとする態度を育てる。

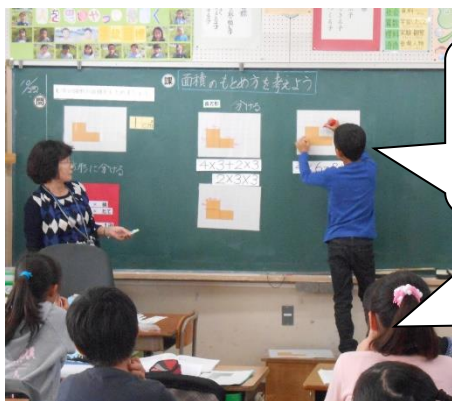
C: 大きな長方形の面積 4×6 から小さい長方形の面積 2×3 をひくという考え方だと思います。



C: 僕は、L字の面積を求める式を、 $4 \times 6 - 2 \times 3$ と考えました。僕の考えた方法を、図を使って説明してください。

※グループでの話し合いをクイズ形式で行った。自分の考えた求積の方法を示し、どんな考えでこの式になったかを友だちに問うことで、積極的に説明し合う場となり、考えを深めることができた。

6 全体で考え方を交流する。 手だて4-③



C: L字のような形の面積も、長方形をもとにして考えれば、求めることができます。

C: 今までに習ったことを使って考えると、いろいろな求め方があるということが分かります。



7 学習感想を書く。 手だて1-①

【指導講評】さいたま市教育委員会学校教育部指導1課主任指導主事 田波 巨士 先生

- 自己選択のコース別少人数指導により、児童の学習意欲を高めることができた。
- 伝え合い活動にクイズ形式を取り入れたことで、豊かな言語活動を行うことができた。
- 既習学習の掲示が充実しており、児童が自力解決に意欲的に取り組むことができた。
- 時間配分を計画的に行ったことで、適用問題に取り組む時間を確保することができ、学習内容の確実な定着につながった。
- 効果的な少人数指導を続けていくことが必要である。
- 自分の考えを、図・式・言葉を使って、豊かに表現できるよう、低学年からの学習の積み重ねがますます必要である。